

# 平成29年度 決算を審査認定

## 各会計の歳入歳出決算額

【単位：円】

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額	翌年度繰越額	実質収支額
一般会計	5,214,319,460	5,117,244,893	97,074,567	4,901,000	92,173,567
国民健康保険特別会計	645,789,724	591,440,727	54,348,997	0	54,348,997
介護保険特別会計	375,653,495	353,651,672	22,001,823	0	22,001,823
後期高齢者医療特別会計	58,397,482	58,255,427	142,055	0	142,055
医療施設特別会計	98,868,904	98,692,366	176,538	0	176,538
簡易水道特別会計	239,957,193	233,492,846	6,464,347	0	6,464,347
公共下水道特別会計	267,699,241	265,507,214	2,192,027	0	2,192,027

平成29年度一般会計ほか6特別会計の歳入歳出決算は、町監査委員の決算審査意見書とともに議会に提出され、本会議において審議を行った結果、各会計とも認定することに決定しました。各会計の決算額は、上記のとおりです。

### 主な審議内容

#### 平成30年度補正予算

**Q 穴崎英樹議員** ジュエリーアイス観光振興事業について、駐車場整備により駐車台数はどのくらい増えるのか。

**A** 約40台分の駐車が可能と考へている。その他、民有地を借りて駐車場を用意するなど観光客受け入れへの対策を図りたい。



ジュエリーアイス観光客への駐車場

**Q 穴崎英樹議員** 舗装工事について、工事の数が多すぎて施工業者の手が回らないと聞くが、今年度の工事においてそのような話は聞いていないか。

現状把握を行った上で対応していきたい。

**Q 小笠原啓人議員** 歯科診療所に購入する備品は、新規に導入するものか。

**A** これまでは医師個人の家庭用ビデオカメラを使っていたが、画質が粗いなど不十分なことから導入する。

**平成29年度決算**

**Q 穴崎英樹議員** 基金残高は、決算時点において、約47億9千万円であるが、積立て額の目標は。

**A** 教育施設、消防施設、公共団体の施設の建替えを見すえて基金を積み立てている。金額を示すことは難しいが、少なくともこれらの事業を実施した上で、さらに普通交付税の収入額程度(平成29年度の普通交付税は、約21億3千万円)は確保する必要があると考へている。

**Q 穴崎英樹議員** 災害対策や運動・スポーツ振興に特化した基金を新設しては。

**A** 災害対策については、北海道市町村備荒資金組合への積立てを道内各自治体ともに行っている。

**Q 穴崎英樹議員** 災害対策や運動・スポーツ振興に特化した基金を新設しては。

**A** 災害対策については、北海道市町村備荒資金組合への積立てを道内各自治体ともに行っている。

# 一般質問



岩井 明 議員

ている。運動・スポーツ振興については、現状の教育振興基金により対応していきたい。

**Q 岩井明議員** 国民健康保険税の徴収において、給与の差し押さえを実施しているが、法令に基づき、生活に影響ない部分に限った差し押さえを実施しているか。

**A** 納税相談等を行ったのち、一定以上の収入がありながら納付されない場合に、法令等の基準により可能な範囲において差し押さえを実施している。

**Q 穴崎英樹議員** 町立医院、歯科診療所の診療報酬収入が、平成28年度と比べて減額となっているが、その理由は。

**A** 町立医院の診療報酬収入が平成28年度の約9割となっている。理由は、町の人口や全体医療費の減少、健康診断の受診勧奨等によるものと考えている。なお、医師の交代があつたが、患者の評価は様々であり、必ずしもそれが理由ではないと考へている。

### 教員の勤務実態は

**Q** 教員の勤務実態の把握方法は、教員をゼロにするこを目標としている。

**A 山本教育長** 教育委員会では、国のガイドラインを参考に、「豊頃町立学校における教職員の働き方改革推進プラン」を策定し、平成32年度末までに1週間当たりの勤務時間が60時間を超える教員をゼロにするこを目標としている。



豊頃小学校の様子

**A 山本教育長** 出勤簿により勤務実態の把握を行っている。勤務時間は、管理職の現認となっている。今後は、十勝教育局が試作中の出勤管理システムやタイムカードの導入を検討していきたい。

**Q** スクールカウンセラーの配置への対応は。

**A 山本教育長** スクールカウンセラーは、配置していない。児童生徒の悩み相談等は、担任教員、校長、教頭により対応しているが、必要となる事案が発生すれば十勝教育局と協議していきたい。

**Q** 教員が部活動の顧問を担っていることが多いが、今後の対応は。

**A 山本教育長** 本町では、部活動指導員として、バトミントンと剣道にそれぞれ1

人指導をお願いしている。可能な限り導入を進めたいが、仕事をされている方がほとんどの中、恒常的に部活動を指導できる人を見つけることは厳しいと考へている。

**Q** 教員が産育休や病休、介護等のために休暇をとるときの代替教員等の対応は。

**A 山本教育長** 町内では、2人の教員が育児休暇中であるが、それぞれ臨時教員の配置を受けて対応している。一方、十勝管内では、4人の代替教員の欠員が生じている。十勝教育局と十分協議し、健全な学校体制が維持できるよう努力していきたい。

・スクールカウンセラーとは、子どもの臨床心理に関する専門知識及び経験を有し、学校に配置され、子ども・教員・保護者へのカウンセリングやアドバイスを通して心の悩みやいじめ・不登校等の未然防止、早期発見を図る人。

・部活動指導員とは、部活動の指導の充実と教員の負担軽減を図るため、中学校・高校において部活動への日常的な指導を行う者。